

はってん祭

心をひとつに かがやけ 3つの軌跡

実行委員長の挨拶に、「一生懸命に準備をしてきました。頑張ったら頑張った分だけ、きっといいはってん祭になります。」との言葉がありました。いいはってん祭でしたね！

オープニングは、高等部を3か所に分けて動画視聴をしました。電子黒板に流れる動画は、高等部3年生が心を込めて作ったものです。はってん祭が少しでも盛り上がるようにと、工夫をして作りました。とっても楽しめましたね。



木工、紙工、窯業、農芸の4作業班からは、50円～3000円の価格の製品が並びました。自分が作った製品や、育てた生産物がいつ売れるのか、ドキドキしながら売り始めました。大きな声での呼び込みをしない接客ですが、丁寧にお金のやり取りを行いました。

「うまくできましたか？」と聞くと、「はい！」と自信満々に笑顔で答えてくれました。

木工班の製品は、小物やベンチ、テーブルなど、どの製品もよく磨かれていて、手触りの良い温かな木工製品が並びました。何度も何度も手触りを確かめて完成させました。

紙工班の和紙製品は、どれも美しく選ぶときに迷うような製品ばかりでした。生徒たちの描いたパネル絵がメモ帳になっていて、自分の絵が売れるのかドキドキしていました。



窯業班の製品は、魚のペーパーウェイトが目を引きました。鱗も一つ一つ付けていった力作です。また、小皿や大皿には、本物の植物の葉を使った模様に釉薬をかけてあり、鮮やかないい色を出していました。

農芸班の生産物はネギやニンニク、キュウリ、シイタケなどが並びました。販売日に収穫の時期を合わせることが難しい班ですが、生徒は自信を持って販売しました。



販売学習で、生徒はたくさんのことを学びます。お客様への声の掛け方、敬語のつかい方、お金のやり取りの仕方、計算の仕方。そして、お客様とのやり取りで社会との交流を持つことができます。将来、自分たちが生活するであろう地域でたくさんの交流を行い、地域で活躍すること、社会に貢献することへの期待を持ってほしいと思います。

最後に肢体不自由教育課程1～3年の製品販売を紹介します。

「I-girls」5人組は、生活単元学習で取り組んだ「オープン陶土の焼き物作り」の製品をはってん祭で売りだしました。

形を一生懸命に整えたり、汚れないように気をつけて色やニスを塗ったりしました。ラッピングも心を込めて行いました。



「こんなにたくさんできたの？」と聞くほど、いろいろな製品ができました。

ハートやキャンディなどのかわいいものから、ギョウザやハニワ、柿ではなくて牡蠣の絵など、面白い製品が並びました。

お客様も楽しそうに選ばれていました。頑張った焼き物の製品づくり、大成功でした！

はってん祭 ところを一つに大成功！